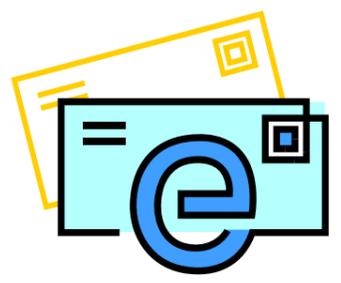


産業医のメールマガジン



59,800通の効果評価

大阪地区で配信している「産業医のメールマガジン」。2005年1月の創刊からすでに50回を数えました。毎日の仕事に追われていると、自分の体調や健康をつい後回しにしてしまいがちですが、先日の読者アンケートには307件(26%)の回答をいただき、皆さんの関心の高さがうかがえました。

メルマガ創刊の目的

当社では健康診断の事後措置として、産業医と保健師による全社員面談を行っています。検査の結果だけでなく、仕事の内容、生活スタイル、体調やストレスなど、幅広い意見の交換を行います。
しかし、年に1回、15分間の面談だけでは、話せる内容に限りががあります。特に初対面の産業医を相手にしては、体調のことや仕事の悩みなど、どこまで相談していいのかわからない戸惑う社員も多かったのではないかと思います。
そこで、より効果的な全社員面談を行うために、産業医の知名度アップと信頼関係の構築、相談しやすい雰囲気作り、情報提供などを目的としたメルマガを創刊しました。

メルマガの主な効果

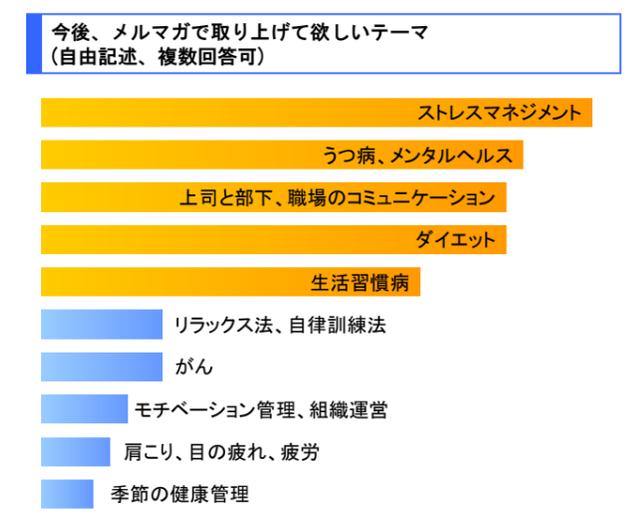
一般的に、健康推進室の社内広報活動を行うと、一時的に相談件数が増え、病気の発生数(発見数)が増加します。しかし当社では、全社員面談を10年前から行っているためか、メルマガ創刊後も相談件数に変化はありませんでした。病気の発生数は2005年以降減少し、現在は落ち着いています。
また、メルマガに対するレスポンスは、月に0~1件(0.1%未満)と、一般的なメルマガと同様の数字です。ただし、今回のアンケートの回答率は26%と、皆さんの関心の高さがうかがえました(一般的なメルマガのアンケート回答率は1~10%)。

読者の声(抜粋)

●身近なテーマで、内容がわかりやすく、人をひきつける文章なので、毎回興味深く読んでいます。●同僚ともメルマガの内容について話すことができますが、『みんなしっかり読んでるんだな』と関心の高さに驚いています。●職場にはいろいろな病気の予備軍が潜在していると思われます。どのように対処すればいいか掲載して下さい。●職場での健康クラブや同好会の運営支援など、職場環境を考える機会と健康促進活動を期待します。●自身のこと、メンバーのこと、身につまされる思いがします。●健康には気をつけなくてはと思いつつ、無理をしてしまいます。心の信号機的な位置づけで読んでいます。●スポーツクラブの記事、先生の体験談だったので楽しく読ませていただきました。●無理をしてしまい、かなり追い詰められたとき、メルマガの記事がヒントになり、助けられました。●社内の調査を行い、現状の問題点を分析、把握し、形にしていれば嬉しいです。●モチベーションに関する事や、マネジメント手法、身近な病気に関する事など、幅広い情報をいつも楽しみにしています。●忙しい中でもホッとできるような気がします。●悩むこともありますが、メルマガを読むと自分の状況を振り返ることができます。

身近なメンタルヘルスに強い関心

これまでに関心のあった記事、これから取り上げてほしい記事のテーマをたずねたところ、「メンタルヘルス」、「ストレスマネジメント」、「ダイエット」、「生活習慣病」という回答が集中しました。
特に「上司と部下のコミュニケーション」への強い関心と、問題意識がうかがえます。



全社への波及効果も

大阪地区限定のメルマガの効果も、全社へと広がっていった例もあります。

- ① 管理職の健康管理の仕組みを改善**
管理職の長時間労働についての記事を配信したところ、社内制度の改善が必要であるとの指摘をいただきました。その後、関係部署に働きかけ、管理職の長時間労働をチェックする仕組みを整えました。
- ② 顧客向けメルマガへの展開**
このメルマガが担当者の目に触れたことがきっかけで、販売本部が発行する顧客向けメルマガにも、2005年8月から記事を提供しています。このような形で当社の事業活動に貢献できることは、大変うれしく思います。



産業医から社員のみなさんへ

試行錯誤の中で生まれたこのメルマガ、少しは皆さんのお役に立っているようで、とてもうれしく思います。今後は、健康推進室として、皆さんのニーズにこたえられるような活動を展開していきたいと考えています。
どうぞ、今後ともよろしくお願いします。

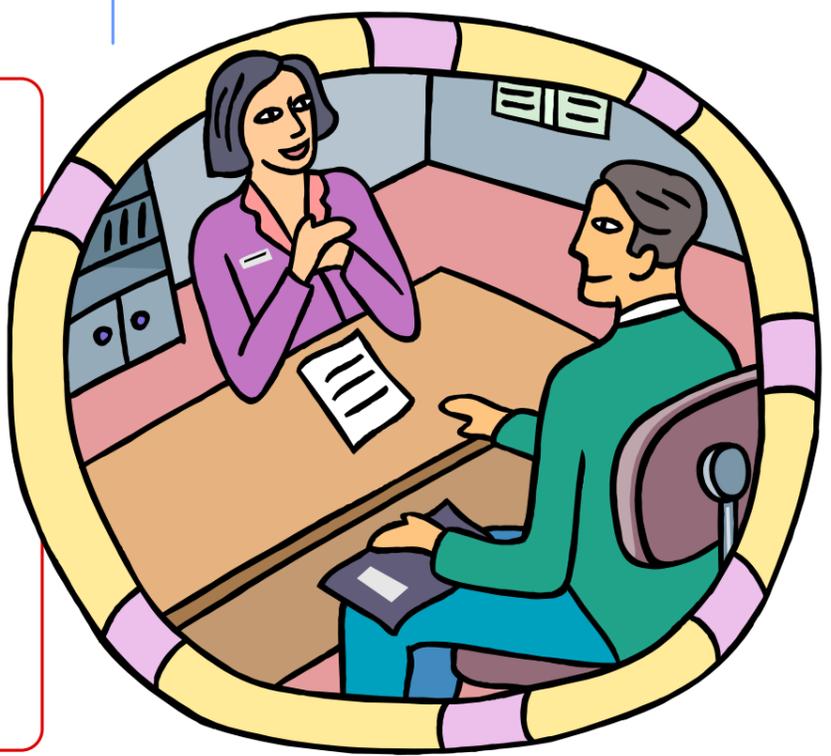
困ったとき、健康推進室に相談するか

相談しようと思う 86%

産業医や健康推進室の活動について

身近に感じる 78%

※「相談しようと思う/以前よりも相談しようと思う」の合計
※「身近に感じる/以前よりも身近に感じる」の合計



より効果的な全社員面談を行うために